



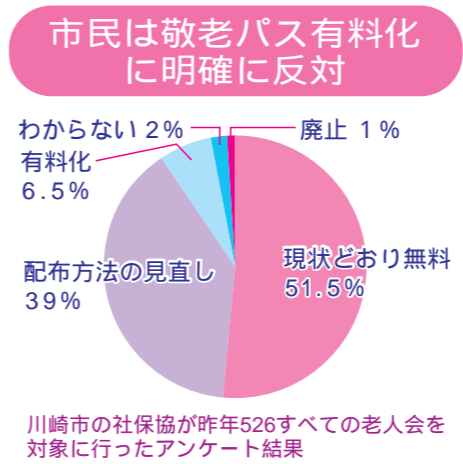
# とんでもない!! 敬老パス・粗大ごみ・**中小企業・商店などの10kg以下** 事業ごみ有料化 下水道料金の値上げ



高齢者の社会参加に欠かせない「敬老パス」(敬老特別乗車証)を有料化、粗大ゴミや10キログラム以下の事業系ごみの有料化など、「行革」の名による福祉の切捨てが具体化されはじめています。いっぽうで破綻のファズ事業には三十億円も投入するなど徹底した大企業専任の「逆立ち市政」に批判が高まっています。

## お年寄りの社会参加を促進する 敬老パスを有料化!

川崎市は高齢者の足として役立つ「敬老パス」を〇四年七月から有料化し、一律一〇〇円を支払うしくみ(応益制)等に見直す考えを明らかにしました。多くの高齢者をはじめ市民から「高齢者の楽しみを奪うもの」と怒りの声が上がっています。



「寝たきり」など必要な人を除いた人数の約六割分の利用を想定した予算をバス事業者に支払う仕組みなので「敬老パス」を使わない人がいても、もともと財政負担には影響はなく、敬老パスは「バラマキ」ではありません。敬老パスは、お年寄りの通院や買い物など生活、社会参加に必要な制度です。絶対に廃止は困るという声が過半数を超えています。

(川崎市社協調べ)

## 粗大ゴミと10kg以下の事業系ごみを有料化

商店などの10kg以下の事業系ごみや粗大ゴミの有料化がすすめられようとしています。売り上げが減り、一ヶ月五〇〇〇円の利益を上げるのも大変な状況です。商店などから出る事業系ごみは有料化になれば、四万の事業者で年間約三億円の負担増が予想されます。不況に追い討ちをかける有料化はやめるべきです。

## 三年前にひきつづき 下水道料金が秋にも値上げ提案へ

市長の諮問委員会の答申を受け、三年前に続き下水道料金の値上げが今秋にも提案されそうです。答申の内容は市民の負担は重く、大口利用者の負担を軽くするもの。日本共産党は、不況が続く中、新たな公共料金の値上げはやめるべきと主張するとともに、市民の意見を聞くよう主張し、八月十二日の「市民説明会」を開かせました。

## トピックス 日本共産党が綱領改訂へ

四十二年ぶりに党綱領を改定するという内外から注目を集めています。資本主義の中で民主主義を徹底させること。生産手段の社会化など未来社会の展望を創造的に開拓したこと。この間の国際活動の実績と到達点から認識を深め、世界情勢論を全体的に展開したこと。などが主な特徴です。党外の方からも意見を募っています。ぜひ一読を。

おとしよりや障害者支援でもがんばりました

特養老人ホーム 介護保険制度がはじまって三年。特養ホーム入所待機者は二八一人に。しかし、今年度開設は三カ所です。四〇〇床。とても入所希望に追いつきません。建設のテンポを早め、介護保険料・利用料の減免制度の拡充をはかるべきです。

介護援助手当の存続を 自宅介護を余儀なくされている高齢者や家族にとって、月一〇万円の介護手当はかけがえのないものです。今年十月からこれも事実上の打ち切りに。阿部市長の冷たさが際立っています。日本共産党は市議会で現行制度を続けるよう主張しています。

支援費制度の基盤整備充実 四月から支援費制度がスタートしましたが、基盤整備の遅れが目立っています。支援費単価を引き上げ、研修制度など、障害者に専門的に対応できるヘルパーさんの充足をはかるべきです。

## いっぽうで破綻状態のファズ事業に37億円を貸し付け

かわさきファズ物流センターは、かわさきコンテナターミナル(株)の破綻で取扱量もさらに減り、もはや「ファズ事業」そのものが成り立たなくなっています。その破綻を取り繕うために「かわさきファズ」に対して川崎市は固定資産税の減免や土地代の免除など事実上の財政支援を行っています。このような事業を続けるべきかどうか

問われて いるとき に、充分な検証もないまま市の基金を取り崩して 三億七千万円を貸し付けるなど大盤振る舞いです。こうした税金の使い方を直せば市民の福祉の財源は充分まかなえるのです。



みなさんのご意見をお寄せください

くらしと平和を守るために共にがんばります

